



富士宮市観光協会は、平成23年度より公益社団法人としてスタートしました。

### 就任の挨拶

公益社団法人富士宮市観光協会 会長 宮崎善且



この度新公益社団法人として初の代表「会長」職を務めることとなりました。協会員の皆さまには、今まで以上に協会事業や地域の観光振興にお力を頂きたいと思っております。

3月11日に東日本大震災が発生し、その被害は東北地域はもちろんのこと、本市の観光におきましても、宿泊や観光施設でのキャンセルを初め観光行事として予定していた「浅間大社桜花祭」「狩宿菜の花さくら祭り」「表富士自転車競走大会」「流鏝馬まつり」などが中止となりました。しかし、このまま何もしないという状態から脱却し、地域から元気を出すことが求められてきたこともあり、6月以降の観光行事は開催することとしました。

また、昨年12月には新たに芝川地区を組み入れた第2次富士宮市観光基本計画が策定され、今年度からは白糸の滝トイレ整備事業がスタートする事や、平成25年の富士山世界遺産登録を目指す動きが活発になることなど、富士山を中心とした富士宮の観光を原点到、より光・輝きを持つ地域となるよう協会員全員の観光協会として諸政策を推進してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

新専務理事 遠藤二郎



この度、遠藤岩男専務理事の後任として選任をいただきました。前遠藤専務が優れた実績を築かれた方でありましたので、その後任を務まるのか浅学非才の自分には不安ではあります。が、協会員の皆さまの発展のため、力いっぱい頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

### 退任の挨拶

前専務理事 遠藤岩男

5月の定時会員総会をもちまして、専務理事を退任させていただきました。長い間会員の皆さまに支えられながら仕事が出来たこと、厚くお礼を申し上げます。

「観光の“観”は、旅行者にとって光を心を込めて観つめることを意味し、迎える側にとっては誇りをもって示す(観す)意味を持っている」と観光事典に興味深い指摘がされています。就任当初「観光＝旅」のような使い方をしていたので、観光の一面しか見ていなかった自分に反省させられるものがありました。以来この観光という語の持つ重みについて認識を新たに、富士宮の秀れた観光資源の特色を、誇りをもって、心を込めて多くの来訪者に観てもらい、人的交流を盛んにすること、このことを心に留めおき、観光の語に恥じないような仕事をしようとしてまいりました。

以来9年余の間、いろいろ思い出がございますが、幸い素晴らしい事務局のスタッフに恵まれ、役員の方々のご支援、ご協力をいただきながら退任を迎えることが出来ました。今は、感謝の念で一杯であり、改めて心より御礼申し上げます。

後任には、遠藤二郎前富士宮市環境経済部長が就任いたしましたので、新たに設立した公益社団法人として富士地区をリードする観光のために貢献していただけるものと期待をしております。私同様、格別のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。これまでの間、本当にありがとうございました。

平成23年

# 富士山まつり

## 富士山開山まつり

6月25日(土)

## 富士山お山開き

7月1日(金)

### 15時 富士の山献茶式

献茶・預け儀  
茶席



### 16時 雅楽・舞楽の夕べ

胡飲酒序・破・園陸王・浦安の舞  
出演:浅間大社侍人會・大仁雅楽會・浅間大社巫女

### 17時 第23回ミス富士山コンテスト公開審査

### 19時 おとのかにかみ灯りコンサート

演奏:おとのかに音楽教室 佐野加奈

### 19時30分 ふじの山かみ灯りコンテスト

—あなたの「灯り」が心を癒す—  
作品展示(公開審査)・表彰セレモニー等

### 18時30分

■富士宮あかり絵  
市内の小学生・幼稚園児の作品が  
ソーラー灯籠で灯されます。

■表富士灯回廊

お問い合わせ

富士宮観光協会 0544-27-5240

### 浅間大社 9時～10時30分

- 大金剛杖パレード
- 富士山まつり開幕宣言
- 一番バス、登山者安全祈願
- 山岳救助隊夏山救助開始式
- 湧水献上
- 開山式典
- 英国大使館と大宮小児童の交流会
- 手筒花火



### 村山浅間神社 11時～12時30分

- 富士山入山式—お山開き式(村山登山道)
- 正式参拝
- 裸ぎ神事—富士根北中生徒による裸ぎ行事
- 護摩焚き神事
- 日英親善交流会(12時30分～14時)

### 富士山表富士宮口五合目 15時

- ※富士山お山開き宣言
- ※オールコック碑献花

しめざり開成!

第23回  
Miss Fujisan 2011

## ミス富士山コンテスト

「富士山の観光大使」として  
多方面でご活躍いただく  
「明るく健康的で、明朗な女性」を選出します!

最終選考会: 6月25日(土) 18:30より  
場所: 富士山本宮浅間大社 祈禱殿前  
応募締切: 6月8日(水)

※詳細は下記へお問い合わせください。

■お問い合わせ先

(社)富士宮市観光協会ミス富士山コンテスト係  
tel. 0544-27-5240

<http://www.fujinomiya.gr.jp/pdf/missfujisan2011.pdf>

## 『梅の里』芝川まつり

6月19日(日) 『親子女子の世』



JR稲子駅～ユートリオ間を片道100円で  
シャトルバスが運行します。

### 会場:新稲子川温泉 ユートリオ

富士宮市上稲子1219番地 Tel.0544-66-0175

- 8時30分 安全祈願祭 上稲子八幡宮
- 9時 梅の里ウォーキング  
(天子の七滝巡り)
- 9時～15時 芝川物産市
- 11時15分 あまこの掴み取り
- 12時30分 芝川おどりコンテスト



お問い合わせ先

富士宮市観光協会『梅の里』芝川まつり推進委員会  
tel.0544-27-5240

# この店

## 「かめや旅館」

『ねこまん 人生』ってなんだろう？



『富士宮』と掛けて『かめやさんの展望風呂』と解く・・・のっけから謎掛けです。

春宵の一刻、“菜食健美”体験に『かめや』さんを訪れました。(才色兼備は毛頭無理なので)、二年ほど前から始めた、富士山麓の旬の食材に拘った“玄米菜食膳”が和のスローフードとしてすっかり定着したようです。

特色の黒ゴマペーストを添えて食すお膳、先ずはゴマ搦り作業。気の置けない友人同士のお喋りが弾みます。

ちっちゃなすり鉢に入った黒ゴマをフチフチ→シャリシャリ→モチモチ→マツリ→ヌメヌメ→トントロリ・・・私の細胞の一粒一粒が急速に新陳代謝してゆくようで、人の命と密接する食の原点に触れたような豊かなゴハンとなりました。

友人は、かめやさんの新たなコンセプト『ね

こまん人生』に心魅かれこんなコメントを・・・  
(寝込まないで、ある日、ほっくり) 誰もがのぞむ、夢のようなこんな人生は、かめやさんの玄米食を頂き、お風呂に浸かって、不思議になんだかもう叶えられたような気がしました。ここは『ねこまん人生』発祥の地なのです。  
“かめやさん”名物、展望風呂からは、雄大な富士山を目の当たりに、富士宮のシンボル『お浅間さん』の長い参道と景観を俯瞰する(見下ろす)ことが出来ます。

さて、冒頭の“心”は[たいしや(大社・代謝)が宜しいようで・・・] K・H



# 芝川ウオッチング

Vol.1

## 芝川の歴史ロマンを訪ねて 平維盛の生涯

平維盛の墓が芝川上稲子西ヶ谷戸の棚田の中にある。どうしてだろうか。維盛は平家の栄華の頂点に立つ平清盛の孫であり、父重盛は清盛の悪行の数々を戒め、朝廷との調整を計りしかも信仰心の厚い人で、その嫡子として生まれた。

父重盛(42歳)の死後、維盛は23歳の若さで総大将となって平家軍7万を率いて富士川の西岸に陣を敷く。甲斐信濃を合わせ20万の源氏は東岸で明日の決戦に備え夜に入った。

ところが何かに驚いた水鳥の羽音を源氏の襲撃と思った平家軍は、取るものも取らずに都に逃げ帰った。1180年10月23日の事である。

1183年5月8日には俱利伽羅峠(クリカヲトウゲ)と能登と越中の境の砺波山では木曾義仲軍と戦ったが7万余の兵は谷に落とされ京都に着いた時には2千余騎の兵しかいなかった。

大敗を喫した平家軍は立ち直ることも出来ず、西へ西へと落ち延びた。そして屋島の壇ノ浦に本拠を構え瀬戸内海で優位に戦いを進めていたが、維盛は京都に残してきた美貌の妻、10歳の嫡子、8歳の姫との別れを悲しみ、最期の決戦の前に戦列から離れ屋島を逃れ高野山に詣った。高野山で出家し山伏姿に身を変え、那智に参拝、那智から小舟に乗りて沖に出て、小さな島「山成島」で入水する旨を松の木に書き残した。 次号につづく H・S

